

# あきる野市 町・自連会報 第21号

発行/平成24年 8月31日 発行者/南 征夫 編集/あきる野市町内会・自治会連合会会報部会

二二・二三年度と、役員も多くの会員の皆様にご理解ご支援を頂き、無我夢中で会長職を勤めさせて頂いていただきました。

しかし、連合会長と自治会長との兼任は大きな負担となるため、いかにしたら役員の負担を軽く出来るか考え、本年度より専任の連合会長となり、更にもう一期勤めさせて頂いていただくことになりました。

本会発展のため、役員の皆様と力を合わせ改革改善に努めて参りますのでよろしくお願いたします。

さて、二四年度は従来からあった「加入促進部会と会報部会」に加えて、「救急医療情報キット部会」を立ち上げました。

本年度は連合会からの働きかけにより、市の予算でキックを購入していただき、メンテナンスは連合会で行うこととなりました。

また、年齢制限も下げ出来るだけ大勢の市民の方に利用



あきる野市町内会・自治会連合会 会長 南 征夫

## ご挨拶

していただけるようにしました。団塊の世代が六五歳となる平成二七年には、あきる野市でも四人に一人は高齢者となります。お互いに助け合い自分の生活を守っていかねければならないと思います。

他にも最近頻繁に起こる地震その他の災害に対する備えです。防災安心地域委員会と共に、長い間存在感すらも薄くなっていた各町内の自主防災組織の充実を図って参ります。

昨年は東京都の補助金で無線機を購入しましたが、本年は防災倉庫の機材追加と防災名簿の充実を図って行きたいと思っております。

連合会は私どもの生活の基礎となる地域社会を支える仲間として、更に地域で誰もが安心して暮らせる街づくりを目指した組織として努力して参ります。皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

## スポレク大会で親睦を深めて

五月一三日(日)都立秋留台公園で開催された第一七回あきる野市民スポレク大会は、初夏の天候に恵まれて小宮町内会からは総勢一八〇名の方の参加を得ることができました。

早朝より組長さんをはじめ、町内会各種団体の皆様のご協力により会場設営やお昼のおにぎり作りなど息のあったチームワークで順調に準備も進みました。プログラムの進行に合わせてスポーツ委員が事前に依頼した選手、参加者にゼッケンをこやかに渡す姿は印象的でした。昼食時、小宮町内会婦人部

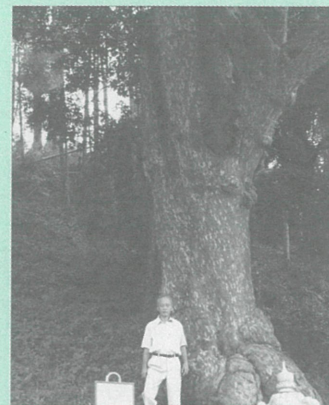


特製の手作りの昼食が届くとおとなも子どもも笑顔でテントに集い、心もったおにぎりを頬張っていました。

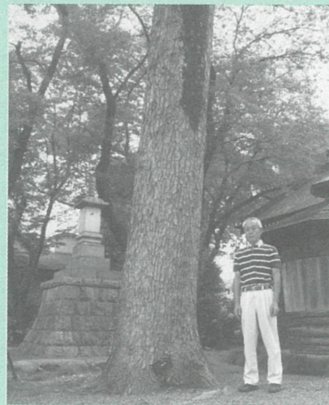
昼食後町内会・自治会対抗ボールアップダウンリレー競技では強い連携で優勝することができ、最終競技種目の対抗リレー競技男女混合の部でも選手と応援の頑張りで優勝することができました。

何より参加者全員が怪我や事故が無く楽しく大会に参加することが出来たことが大きな成果だと思います。大会を企画運営、協力して下さった方々に感謝申し上げます。

## 地域の話題



雨間地区 地藏院のカゴノキ 地元では「なんじゃもんじゃの木」と呼ばれている



二宮地区 玉泉寺のモミの木

## 役員会・全体会の 連絡協議報告事項

- 平成二四年度
- 四月二〇日
    - 平成二四年度定期総会
  - 五月九日(役員会)
    - 各部会について
    - 平成二四年度事業計画について
    - その他
      - △みんなて歩くあきる野百景めぐりマップ配布について
  - 六月二〇日(役員会)
    - 全体会について
    - 部会活動報告
    - △敬老行事の推進事業
    - △第六二回社会を明るくする運動について
    - △地域福祉基金について
    - △第十回夏まつり他ポスターの掲示について
    - △平成二四年度地域懇談会について
    - △災害用井戸の調査結果について
    - △町内会・自治会ガイドブック作成について
- (注) ○印は、連合会の協議報告事項 △印は、市からの連絡事項 (会報部会 山中利勝)

## 平成二四年度あきる野市町内会・自治会連合会定期総会開催される

平成二四年度定期総会が四月二〇日(金)にあきる野ルピア三階「ルピアホール」において、連合会会員八一名と、白井孝あきる野市長はじめ多くの来賓の方々のご出席を賜り盛大に開催されました。

南連合会会長は挨拶の中で、二三年度の事業運営総括と、自治会のあるべき姿の思いを熱く語られました。

続いて、正副議長を選出、議事が進行されました。



新役員紹介



平成二三年度事業・活動報告、会計決算報告、会計監査報告と二四年度事業活動計画案、連合会会計予算案等が審議され採決し全会一致で採択されました。

また、今年度は役員改選時期にあたり、連合会長の専任制度(会則第五条二項)の規定に基づき、南征夫会長が選出されました。

新年度の事業・活動計画に「救急医療情報に関すること」が新たに追加され、連合会の一層の啓発を図ることが確認されました。

最後に連合会の目的である町内会・自治会の自主性と民主的精神を尊重し、地域の福祉の増進と行政との協働により安全・安心な地域の構築を願って閉会しました。

## 編集後記

関東地方が梅雨入りした六月九日、五日市地域交流センターにおいて平成二四年度最初の会報部会が開催されました。

南連合会長、中村会長代行、会報部会の新メンバーにより、八月末日と来年二月末日の会報発行を確認し、本二一号発行に向けての編集について協議しました。

皆様に連合会の動向を正確に伝え、親しんでいただける会報の発行に向け編集、原稿の依頼そして校正等の作業をおこないました。

会報二一号が皆様のお手元に届く頃は、夏休みが終わり真っ黒に日焼けした子供達が、安心安全パトロール隊に見守られ「つくつくぼうし」の鳴き声を聞きながら、宿題を抱え元気に登校する姿が見られる頃だと思います。

結びに、ご多用の中、原稿依頼を快く引き受けていただいた方、編集にご協力いただいた皆様にお礼申し上げます。(会報部会 野崎 忠)



### 平成24年度あきる野市町内会・自治会連合会名簿

町内会・自治会		町内会・自治会		町内会・自治会		町内会・自治会		町内会・自治会		町内会・自治会		町内会・自治会		町内会・自治会		町内会・自治会		町内会・自治会		町内会・自治会																																																																																																																																											
町内会・自治会	会長	町内会・自治会	会長	町内会・自治会	会長	町内会・自治会	会長	町内会・自治会	会長	町内会・自治会	会長	町内会・自治会	会長	町内会・自治会	会長	町内会・自治会	会長	町内会・自治会	会長	町内会・自治会	会長																																																																																																																																										
草花町内会	塩野 達夫	三内自治会	栗原 一雄	寺岡自治会	沖倉 優	雨間町内会	御手洗泰弘	折立町内会	若月 輝明	小机自治会	清水 修	野辺町内会	野島 茂	黒田 俊一	山中 利勝	二宮町内会	吉野 俊郎	東町自治会	山中 利勝	小川町内会	河野善一郎	榎口 吉次	小川東町内会	神田 秀次	小宮久保町内会	小川 好夫	仲町自治会	山内 正志	小宮団地自治会	清水 敏夫	荒井 一雄	上町自治会	大野誠一郎	秋留台自治会	伊井 晴美	小宮町内会	小林 明夫	五日市入野自治会	沼田 隆治	秋川ハイツ自治会	佐野 成久	瀬戸岡町内会	浦野 照夫	栄町自治会	宮崎 良之	平沢町内会	前田 完二	原小宮町内会	田中 博尚	小中野自治会	五十嵐治三	大塚自治会	濱崎秀一郎	菅生町内会	野口 貞夫	野口 貞夫	榎本 和夫	屋城自治会	小峰 道治	四軒在家町内会	沢辺 優	留原自治会	大塚 強	前田自治会	佐野 猛征	尾崎町内会	宮崎 公夫	中村自治会	國井 正司	緑の里自治会	華房 実	草花住宅自治会	田中 英之	高尾自治会	森田 勝次	平川(ア)秋川自治会	松尾 克之	ア・チ・シ・ウ自治会	岡崎 裕章	下館谷自治会	須山 光雄	上引田町内会	渡邊 寛二	山田下分自治会	金久保任弘	上館谷自治会	岡部 勝男	中引田町内会	佐野 正克	山田中分自治会	萩原 茂男	小倉自治会	伊藤 宗武	下引田町内会	福本 俊雄	山田上分自治会	小室 豊	山下自治会	松村 和夫	測上町内会	橋本 茂	網代自治会	網代 和夫	深沢自治会	柴原 竹司	上代継町内会	武内 基	新宿自治会	野崎 忠	戸倉東部自治会	山下 敏夫	下代継町内会	嶋崎 三雄	上宿自治会	田辺 哲夫	戸倉西部自治会	山下 敏夫	牛沼町内会	須藤 勲	中平自治会	森田 嘉和	戸倉西部自治会	田中 英雄	油平自治会	中村 勇	大上自治会	中村 金作	落合自治会	萩原 泰壽	油平町町内会	山本 紀一	北伊奈自治会	小倉 光二	乙津自治会	乙訓 進	富士見台自治会	石川 川村 穂	西伊奈自治会	高橋 和夫	青木平自治会	市川 辰雄	森山町内会	川村 郷一	森ノ下自治会	鈴木 常男	軍道自治会	栗原 陽	高瀬町内会	矢崎 信	横沢自治会	吉野 清治	養沢自治会	岡部 輝男	高瀬町内会	矢崎 信	横沢自治会	吉野 清治	養沢自治会	岡部 輝男

### 町内会・自治会 町内会長・自治会長

### 連合会役員

役職名	氏名
会長	南 征夫
会長代行副会長	中村 勇
副会長	御手洗泰弘
副会長	黒田 俊一
副会長	野崎 忠
副会長	山中 利勝
副会長	山下 敏夫
副会長	宮崎 良之
副会長	武内 基
副会長	吉野 俊郎
副会長	矢崎 信
書記	森田 勝次
書記	市川 辰雄
書記	野島 茂
書記	石川 穂
書記	荒井 一雄
書記	萩原 茂男
書記	吉野 清治
書記	栗原 陽

### 連合会部会

部会長	部会長	部会長	部会長	部会長	部会長	部会長	部会長	部会長	部会長	部会長	
加入促進部会	御手洗泰弘	加入促進部会	栗原 陽	加入促進部会	吉野 清治	加入促進部会	石川 穂	加入促進部会	市川 辰雄	加入促進部会	山中 利勝
救急医療情報キット部会	黒田 俊一	救急医療情報キット部会	中村 勇	救急医療情報キット部会	宮崎 良之	救急医療情報キット部会	武内 基	救急医療情報キット部会	荒井 一雄	救急医療情報キット部会	吉野 俊郎
救急医療情報キット部会	矢崎 信	救急医療情報キット部会	森田 勝次	救急医療情報キット部会	市川 辰雄	救急医療情報キット部会	野島 茂	救急医療情報キット部会	萩原 茂男	救急医療情報キット部会	栗原 陽



退任者代表挨拶

### あきる野市町内会・自治会連合会の部会紹介

あきる野市町内会・自治会連合会には三部会が設置され、安心・安全な地域づくりを目指し啓発等の活動を行なっています。

#### ●会報部会

あきる野市町内会・自治会連合会会報部会は、連合会の事業計画や活動状況等を会員の皆様にお伝えするため、八月末日と二月末日の年に二回の会報を発行しています。

連合会の活動方針、事業計画等の連合会全体の活動状況や町内会・自治会が必要としている情報の提供の他、各地域での特別な活動や話題等を掲載しています。

会員の皆様に町内会・自治会連合会の動向等が身近なものとしてお届け出来るよう、ご意見や話題等をお聞きし、さらなる紙面の充実を図っていきたく思います。

#### ●加入促進部会

あきる野市の町内会・自治会への加入率は平均で六十%と云われています。かつてはこの地域でも百%でした。奥多摩町や松原村では現在でも約百%の加入率

を維持しています。

あきる野市でも五日市地区は百%に近く、市街化の進んでいる秋川地区が五十%台と西高東低の状況にあります。昨年の東日本大震災を教訓に日本全体が災害時に於ける町内会・自治会組織の大切さが再認識されています。

加入促進部会は平成二四年の活動計画を次の三点とし、加入促進を図ります。

- ① 自主防災組織の強化あるいは避難所体制の確立等に取組み、各地域の防災計画を事ある毎に未加入者に宣伝し、加入促進を図ります。
- ② 不動産協会に町内会・自治会への加入案内資料の配布を依頼し、加入促進を図ります。
- ③ 転入者の多い三・四月に市役所受付ロビーに各町内会・自治会の案内コーナーを設けるほか、秋に開催される産業祭に、各町内会・自治会の特徴をアピールし、加入促進を図ります。

#### ●救急医療情報キット部会

「救急医療情報キット」は緊急時や災害時に援護の必要な高齢者などに的確な処置対応するための救助の仕組み

で、「救急医療情報キット部会」は、登録者の推進を図るため新たに発足した部会です。

かかりつけ医や持病などの救急情報を専用の用紙に記入し筒状の容器に入れて冷蔵庫に保管しておくことで、119番通報により駆け付けた救急隊が迅速な救急活動に役立てる仕組みです。あきる野市では平成二二年度「東京都地域の底力再生事業助成」で、七五歳以上の希望者に町内会・自治会連合会が実施しました。

二四年度は市の高齢者支援課をとおして事業を展開しますが、継続して安全で安心な暮らしを支援するため、あきる野市町内会・自治会連合会が窓口になります。

今年度より対象者は六五歳以上の一人暮らしの方、六五歳以上の高齢者のみの世帯の方、障がいをお持ちの方、健康上不安のある方を登録対象者としてしました。

各地区の町内会・自治会の会長にお申し込みください。なお、秋には導入推進月間を設けますのでよろしくお願いたします。

(黒田 俊一)

### 「東京防災隣組」認定報告

増戸地区防災・安心地域委員会委員長 大久保 春彦

平成二四年四月一五日都議会議員会堂都民ホールにて、増戸地区防災・安心地域委員会が、「東京防災隣組」第一回認定団体として、副知事より認定証をいただきました。東京都では、昨年の東日本大震災を受け、地域防災力の向上に向けた施策を推進するため、共助の仕組みづくりとして防災隣組の構築を進めています。

その「東京防災隣組」の第一回認定団体として、都内36団体の中の一つとして認定されたものです。

増戸地区の防災体制はまだまだこれからですが、自治会と各種団体が連携した活動、地域の皆様方の日頃の「隣組」と近助の精神による活動等が評価された結果だと思っております。

最近、地域のコミュニティ作りが一番大切な事は「向こう三軒両隣」という事がよく言われています。

防災に限らず、防犯、高齢者・児童の見守り等、どれを取っても隣近所の繋がりが一番であり、重要な事です。町内会・自治会の活動は、まさに隣近所の繋がりができる場であり、活動が活発な地域ほど、そこに住む人達が生き生きと生きています。

大地震の発生率、被害想定の見直し等、大地震に関する情報が飛び交い、災害に対する備えが重要な今日、災害発生時には「防災隣組」の精神を大切にし、やらなければならぬ事をできる事から一つひとつ実行するを基本として、地域の防災意識の高揚を図りたいと考えます。



東京防災隣組第一回認定式